

しんちゃんの森の森林整備

4月23日（土）酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接する国有林1131林班い1小班（庄内森林管理署と西荒瀬保育園で協定書を結んだ遊々の森「しんちゃんの森」）で森林整備を実施しました。

当日は曇り空の天気です。今にも雨が落ちて来そうな空模様の中、年長組園児の保護者6名、保育園の先生16名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、山形県庄内総合支庁森林整備課1名の総勢27名で「しんちゃんの森」の整備に挑みました。

西荒瀬保育園で取り組んでいる「みどりの保育園推進事業」は、山形県が実施している県民みんなで支える森・みどり環境公募事業からの支援を頂いて行っているもので、園児の保護者にも理解してもらう目的で、庄内総合支庁森林整備課阿部主査からみどり環境税公募事業の説明を聞きました。

「しんちゃんの森」は、昨年、大がかりに整備を行いました。林内にはまだ、多くの切株やツタウルシが存在することから、今年はその除去し、園児達がより良い林内環境で遊べるようにと保育園が計画したものです。

切株除去作業には、男性の保護者等に行ってもらいました。唐鋏を使用することが初めての方がほとんどだったことから、当センター職員が唐鋏の使い方や安全作業について、きめ細かく指導を行って作業にかかってもらいました。また、ツタウルシ除去作業については、女性の保護者や保育園の先生に行ってもらいました。作業に際しては、当センター職員がウルシによるかぶれを防ぎながら安全に行う方法等を指導してから行いました。切株除去作業では、大物の株にも挑戦し、汗だくになりながら奮闘してくれた保護者の方もいました。ツタウルシ除去作業では、大勢の人の力が合わさって、除去したウルシのツルの山がいくつも出来ました。約1時間ほどの作業でしたが、参加した保護者の方からは、このような良い環境で子供達を遊ばせることができることがありがたいと意見を頂きました。

終わりの会では、6月4日（土）にも草刈作業が計画されていることを保護者の皆さんに伝えるとともに、これからも、「しんちゃんの森」の整備をとおして、園児達が安全に遊ぶことができる環境づくりに取り組んで行くことを園児の保護者の皆さんと確認しました。



（シュンランの花）



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター